

# イタリア

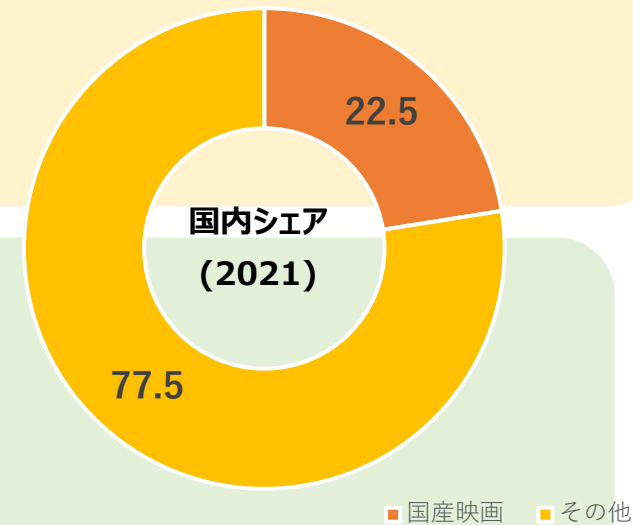


## 映画産業

- ・スクリーン数 5,300超で世界第7位
- ・映画製作が盛んで毎年250～300本製作されている（世界第7位）
- ・34カ国と協定を結んでおり海外との共同製作を推進
- ・その結果、国際共同製作の割合は15→18%と増え、2021年は23%が海外との合作

## 国内市場

- ・10年前は40%程度あった国産映画のシェアが徐々に減少、現在は20%程度
- ・興行収入の上位はハリウッド映画が占める
- ・コメディが強い
- ・国産アニメは少なく、主にディズニーを中心としたハリウッド映画がメインだが、日本アニメにも一定数のファン層がいる



## 市場データ (2021年)

・国内興行収入：	1.78億ユーロ	(2019年：6.679億ユーロ)
・国内の劇場動員数：	0.266億人	(2019年：1.044億人)
・国内のスクリーン数：	5,325	(2019年：5385)
・平均チケット価格：	6.6ユーロ	(2019年：6.4ユーロ)
・一人あたりの年間平均入場回数：	0.4回	(2019年：1.7回)
・マーケットシェアにおける国産映画の割合：	22.5%	(2019年：21.6%)
・映画製作本数：	313本	(2019年：325本)

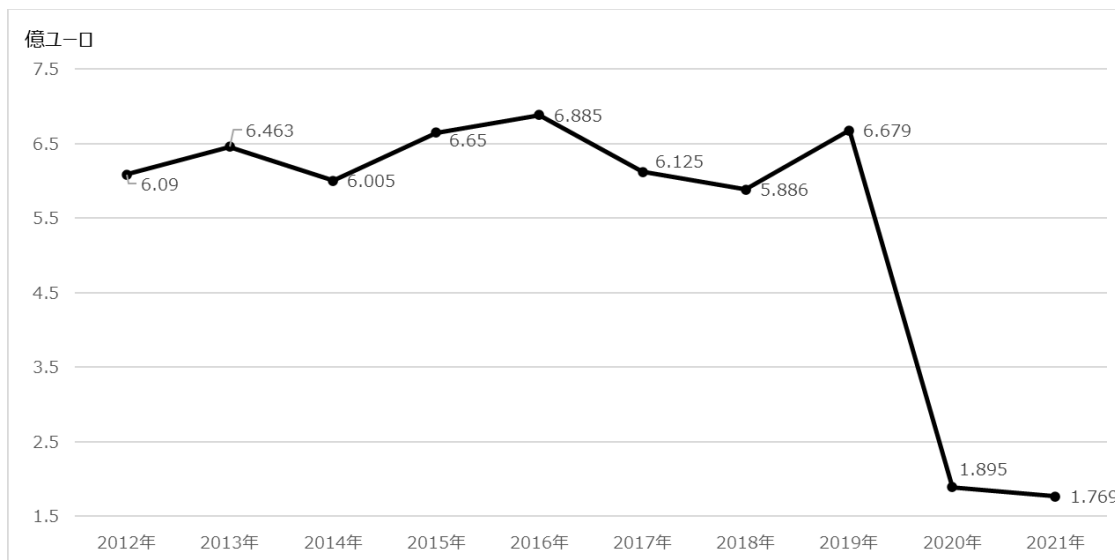
\*100%国産 = 239本、国際共同製作 = 74本

## イタリアの国内市場規模

### 1. 興行収入 (2012-2021) <sup>1</sup>

\* 2019 年前は、概ね 6.5 億ユーロ前後を推移。2021 年はパンデミック前の 3 割程度から横ばい。

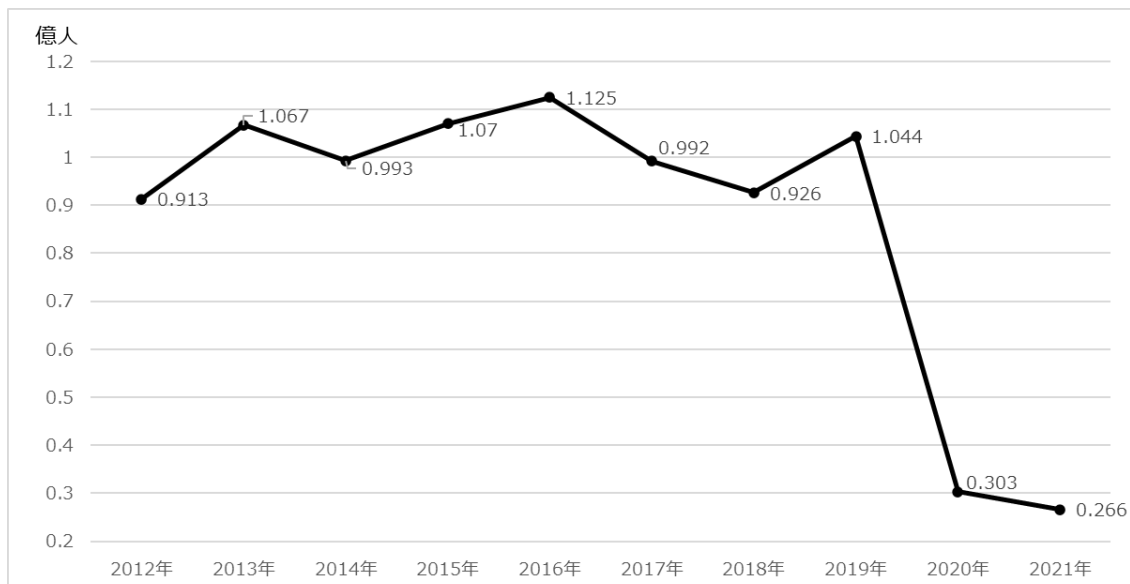
図 イタリア国内の劇場興行収入 (グラフ)



### 2. 動員数 (2012-2021) <sup>2</sup>

\* 動員数は 1 億人前後を推移していたが、2021 年は 3 割以下に減少。

図 イタリア国内の劇場動員数 (グラフ)



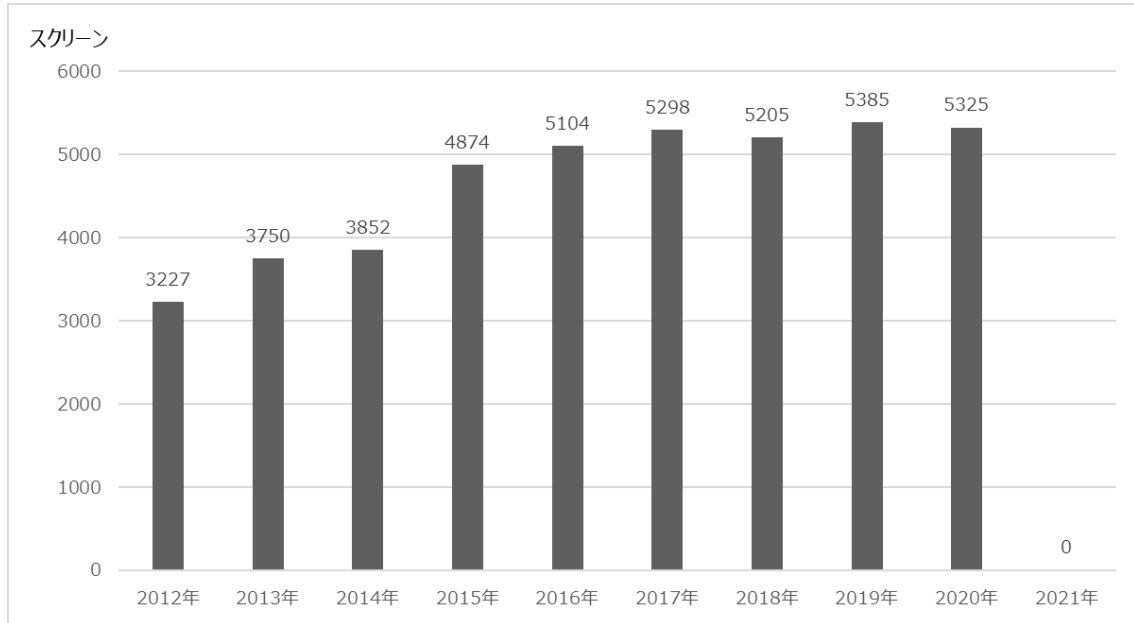
<sup>1</sup> European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成

<sup>2</sup> 同上

### 3. スクリーン数 (2012-2021) <sup>3</sup>

\*イタリア国内のスクリーン数は堅調に伸び続け、パンデミック下でも微減に留まり欧州第2位。2021年のデータ無し。

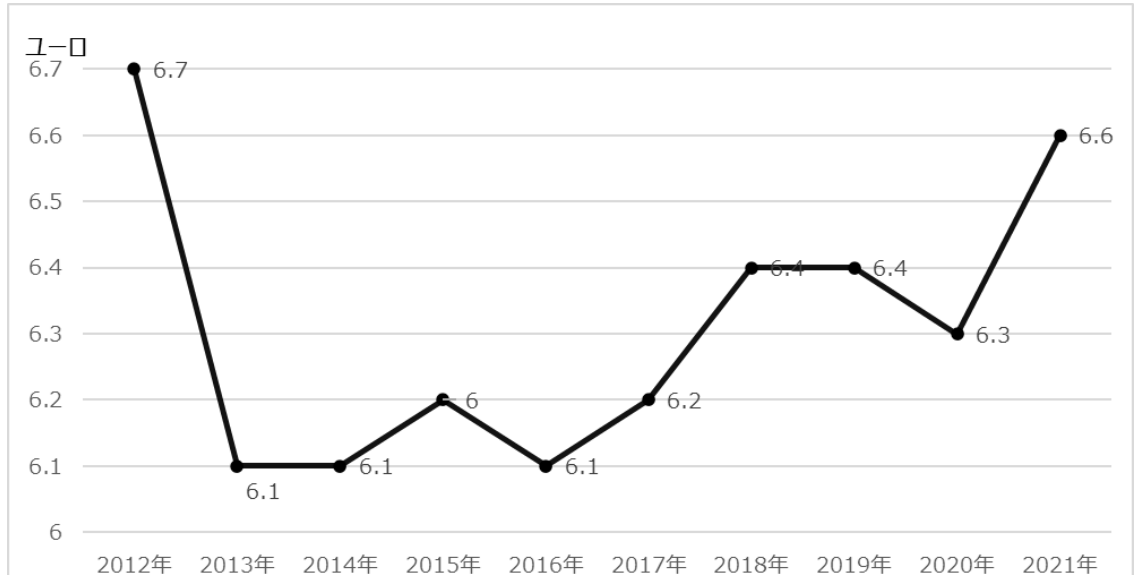
図 イタリア国内のスクリーン数 (グラフ)



### 4. 平均チケット価格 (ユーロ) (2012-2021) <sup>4</sup>

\*チケット価格は右肩上がりではなく年により変動。2021年は6.6ユーロに上昇。

図 イタリア国内の平均チケット価格 (グラフ)



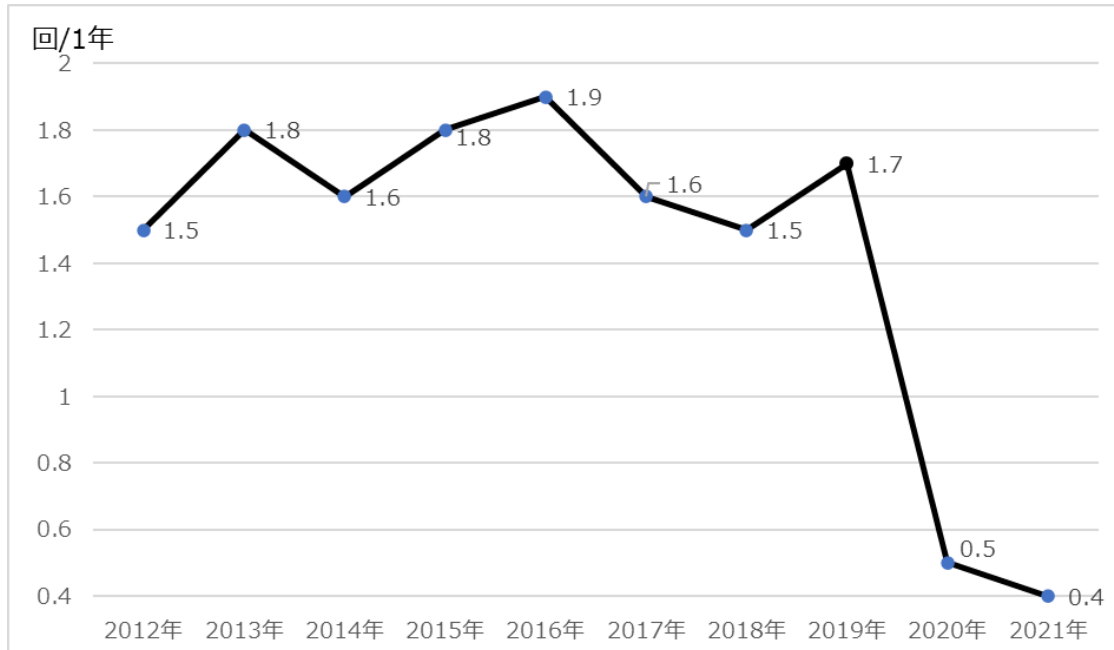
<sup>3</sup> European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2012 年版～2021 年版を元に作成  
数字に修正があったものは、最新に合わせて修正

<sup>4</sup> 同上

## 5. 一人あたりの年間平均入場回数（2012-2021）<sup>5</sup>

\*ヨーロッパ平均（2回）を下回っていたが、2021年には0.4回とさらに減少。

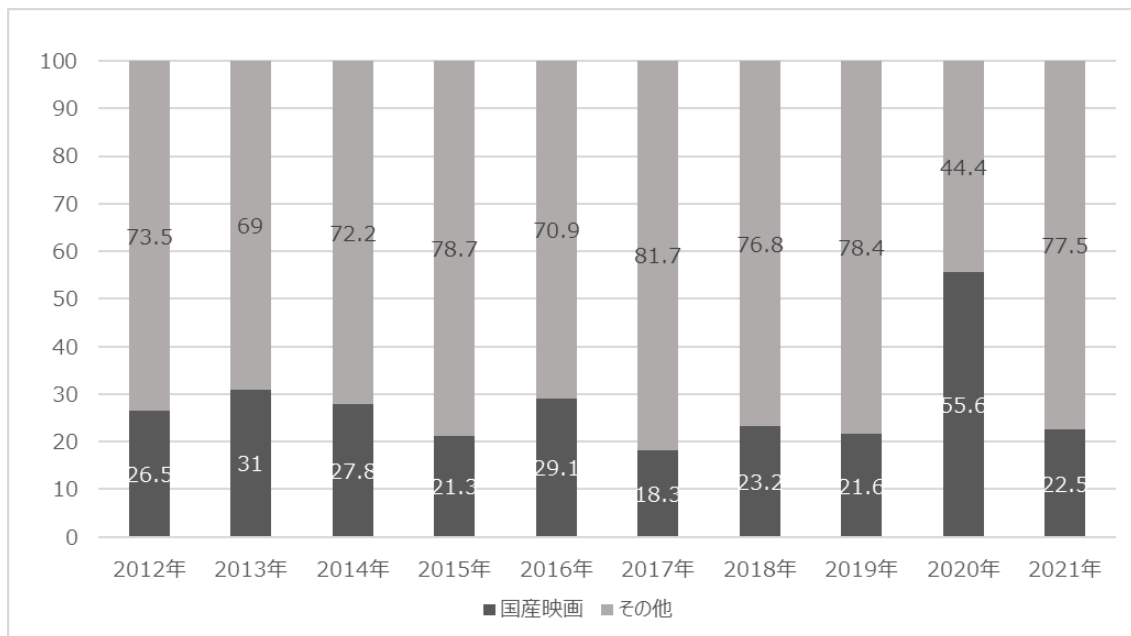
図 イタリアの一人あたりの年間平均入場回数（グラフ）



## 6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2012-2021）<sup>6</sup>

\*国産映画の割合は2割程度だったが、2021年はパンデミック前の2割程度に戻った。

図 イタリアのマーケットシェアにおける国産映画の割合



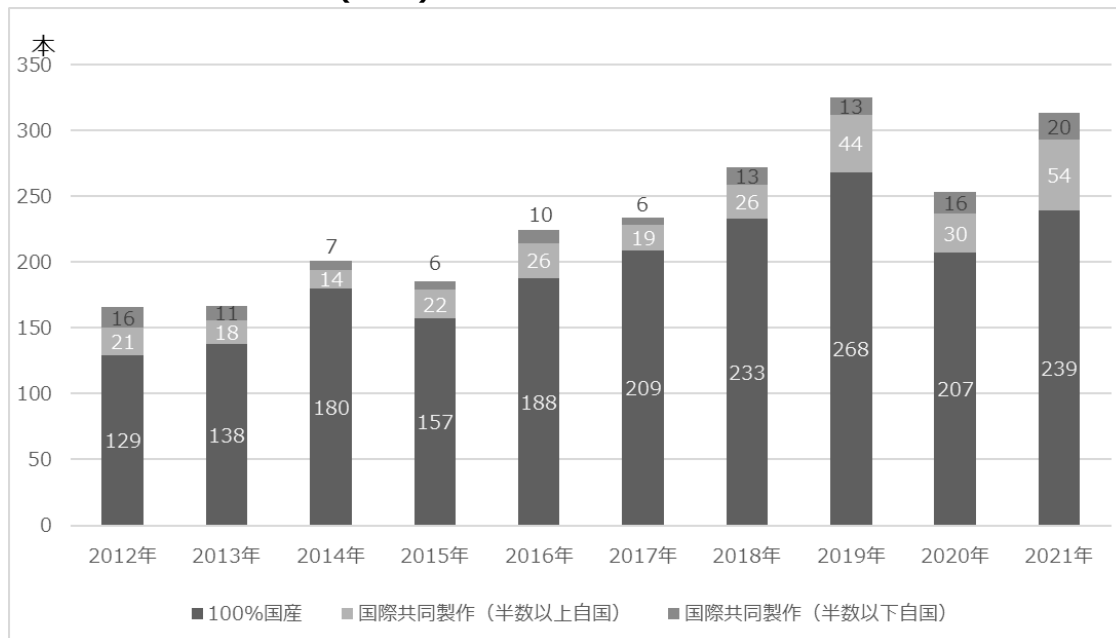
<sup>5</sup> European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成

<sup>6</sup> 同上

## 7. 映画製作本数（2012-2021）<sup>7</sup>

\* 製作本数は 2020 年に減少したが、欧州 2 位の本数は維持した。

図 イタリアの映画製作本数(グラフ)



<sup>7</sup> European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2012年版～2021年版を元に作成